

会 議 記 録

会議名称	第6回杉並区肺がん検診外部検証等委員会	
日時	平成30年10月31日（水）午後7時00分～午後9時30分	
場所	杉並保健所 地下1階 講堂	
出席者	委員名	竹内会長、亀井委員、中西委員、中山委員
	事務局	杉並保健所長、健康推進課長、地域保健・医療連携担当課長、健診係長 地域保健担当係長
会議次第	1 開会 会長あいさつ 2 議題 (1) 再発防止に向けた提言について 資料1・資料2参照 (2) その他	

会議要旨

1 開会

2 議題

(1) 再発防止に向けた提言について

○ 第3-2「事案発生後の対応」

「事案発生後の対応」について新たに章立てし、①医師会での胸部エックス線画像の確認、②区が行った精度管理の徹底、③河北健診クリニックでの読影体制の変更、④河北健診クリニックでの区肺がん検診胸部エックス線画像の9,424名の再読影、⑤河北健診クリニックでの区肺がん検診の休止 について追加する。

○ 第3-3「区肺がん検診の実施状況」

「区肺がん検診の実施状況」の構成を、①区肺がん検診のこれまでの経緯、②受診者数の推移を追加し、③検査項目、④受診勧奨の実施、⑤実施医療機関の選定、⑥指定医療機関の選定、⑦実施体制、⑧精度管理の状況、⑨杉並区がん精度管理連絡会、⑩区民周知の状況、⑪実施医療機関に対する実施手順の遵守等の状況 の順に整理する。

○ 問題点1「指定医療機関制度について」

指定医療機関制度を開始したことに問題があるのではなく、指定医療機関の精度管理面のチェックが出来ていなかったことに問題があったことから制度論として記述する方がよいのではないかと。

○ 問題点5「受診者数の見極めと実施医療機関の検診受入規模について」

「先駆的な自治体の中には、検診受入可能数の見積もりを実施しているところもあった」

というような表現が適切ではないか。

○ 問題点4「指定医療機関の実施体制について」

この内容は、河北健診クリニックに限定されているので「指定医療機関としての河北健診クリニックの読影体制」のほうがより適切ではないか。

○ 問題点の項目順について

問題点の項目と提言がリンクするように並べ変えたほうが分かりやすいのではないか。

○ 提言2「読影における専門医」

「学会等のガイドラインや国の指針が明確になるまでの間、杉並区として一定の基準を設けることが望ましい」としたほうがより適切ではないか。

○ 提言8「区の健（検）診と河北健診クリニックの人間ドックとの併用実施について」

この提言8に関する問題点の指摘がないので、問題点9として問題点を記載すべきではないか。

○ 第7「検証を終えて」

この章は、我々がこれまで議論を進めるに当たって、貫いてきた姿勢や、今後再発防止に向けて取り組むこととなる区へのエールで締めくくれば良いのではないか。